

令和 年 月 日

新庄市長 山科 朝則

申請者 住 所

氏 名

工事場所（□住所と同じ）

連絡先

令和6年度新庄市浸水住宅復旧緊急支援事業費補助金交付申請書

令和6年度新庄市浸水住宅復旧緊急支援事業費補助金に対して_____円
を交付されるよう新庄市補助金等交付規則第3条の規定により、次のとおり申請します。

記

- 補助事業の名称 令和6年度 新庄市浸水住宅復旧緊急支援事業費補助金
被災区分： 罹災証明書に基づき、を付けてください。
半壊 準半壊 準半壊に至らない（一部損壊）
- 補助事業の目的及び完了年月日(予定)
目 的： 令和6年7月25日からの大雨による被災者の居住の安定と住宅の安全
確保を図る
完了年月日(予定)： 令和 年 月 日
- 添付書類
 - 工事計画概要書
 - 復旧等工事の見積書（工事が完了している場合は、内訳明細が記載された請求書の写し等）
 - 復旧等工事に着手する前の被災状況の写真又はこれに代わる資料
 - 同意書
 - 暴力団排除に関する誓約書

工事計画概要書

【復旧等工事を行う箇所の概要図】

※住宅の間取りや復旧等工事を行う箇所の概要図を記入すること。

※概要図を別紙とする場合は、別紙のとおりと記入すること。

【被害の状況】

【復旧等工事の概要】

同意書

令和6年度新庄市浸水住宅復旧緊急支援事業費補助金を申請するにあたり、新庄市の担当職員が私の課税資料、罹災証明書の被害区分、住民基本台帳等を閲覧・謄写することに同意します。

令和 年 月 日

No.	氏名	住所	生年月日	滞納の有無
例	新庄 太郎	新庄市沖の町 10 番 37	平成 2 年 2 月 2 日	有・無・課税無
1				有・無・課税無
2				有・無・課税無
3				有・無・課税無
4				有・無・課税無
5				有・無・課税無
6				有・無・課税無
7				有・無・課税無
8				有・無・課税無
9				有・無・課税無
10				有・無・課税無

罹災証明書の被害区分	半壊 ・ 準半壊 ・ 準半壊に至らない（一部損壊）
------------	---------------------------

※太枠のみ記入してください。滞納の有無、罹災証明書の被害の区分の欄は市が記入します。

様式第3号

暴力団排除に関する誓約書

私 当社は、

- 1 下記のいずれにも該当しません。将来においても該当することのないことを誓約します。
- 2 下記の該当の有無を確認するために、新庄市から役員名簿等の提出を求められたときは速やかに提出します。また、当該役員名簿等が山形県新庄警察署に提供されることについて同意します。
- 3 暴力団の不当な要求には応じません。また、不当な要求を受けたときは、ただちに警察署へ通報するとともに、新庄市に報告します。
- 4 この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

記

- 役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは常時契約を締結する事務所の代表者をいう。以下同じ。）が、新庄市暴力団排除条例（以下「条例」という。）第2条第3号に規定する暴力団員等（以下「暴力団員等」という。）であること。
- 暴力団（条例第2条第1号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員等が経営に実質的に関与していること。
- 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員等を利用するなどしていること。
- 役員等が、暴力団又は暴力団員等に対して資金等を供給し、又は便宜を供与する等直接的若しくは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与していること。
- 役員等が、暴力団又は暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有していること。

新庄市長 あて

令和 年 月 日

住所又は所在地
商号又は名称
代表者職氏名

生年月日

本籍
(山形県外在住者のみ記載要)

令和 年 月 日

新庄市長 山科朝則

申請者 住所

氏名

令和6年度 補助事業変更(中止・廃止)申請書

令和 年 月 日付指令第 号で交付決定のあつた事業について、次のとおり変更(中止・廃止)したいので、新庄市補助金等交付規則第7条の規定により申請します。

記

- 1 補助事業の名称 令和6年度 新庄市浸水住宅復旧緊急支援事業費補助金
- 2 変更(中止・廃止)予定年月日
- 3 変更(中止・廃止)の理由
- 4 変更の内容

	変更前	変更後
請負工事費	円	円
補助金額	円	円

(備考) 変更のときは()書を抹消する。

令和 年 月 日

新庄市長 山科 朝則

申請者 住所

氏名

令和6年度新庄市浸水住宅復旧緊急支援事業費補助金実績報告書

令和 年 月 日付指令第 号で交付決定のあつた事業について、新庄市補助金等交付規則第9条(又は地方自治法第221条第2項)の規定により、その実績(又は状況)を報告します。

記

- 1 補助事業の名称 令和6年度新庄市浸水住宅復旧緊急支援事業費補助金
- 2 補助事業の成果及び完了年月日 令和 年 月 日
- 3 添付書類
 - (1) 工事請負契約書の写し
 - (2) 工事領収書の写し
 - (3) 実施中及び完成時の工事箇所の写真
 - (4) その他

令和 年 月 日

新庄市長 山 科 朝 則

住 所

氏 名

印

請 求 書

金 _____ 円

令和 年 月 日付け指令第 号で交付決定がありました
令和6年度新庄市浸水住宅復旧緊急支援事業費補助金を請求いたします。

振込み先

振込み先金融機関名

支店名

種類 普通

口座番号

(フリガナ)

口座名

工 事 請 負 契 約 書

工 事 名	令和6年度新庄市浸水住宅復旧緊急支援事業 住宅復旧等工事		
工 事 場 所	新庄市	地内	
工 期	令和 年 月 日から	令和 年 月 日まで	
請負代金額	¥ -		
	(内 工 事 代 金 額 ¥ -) 取 引 に 係 る 消 費 税 額 ¥ - 訳 及 び 地 方 消 費 税 額		
契 約 保 証 金	¥	前 払 金	¥

上記の工事について、発注者(甲)と請負者(乙)とは、各々対等な立場における合意に基づいて、請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

本契約の締結を証するため、本書2通を作成し、当事者記名押印の上、各自1通を保有する。

令和 年 月 日

(甲)発注者 所在地 新庄市

氏 名 Ⓜ

(乙)請負者 住所又は所在地
氏名又は名称
及び代表者氏名

Ⓜ

施工前・施工中の写真撮影していない場合の取扱い

令和 年 月 日

「令和6年度新庄市浸水住宅復旧緊急支援事業費補助金」
証拠写真代替資料

新庄市長 殿

施工業者名	
代表者	
電話	
メール	

工事物件	邸（住所： ）		
被害区分	半壊	準半壊	準半壊に至らない （一部損壊）
実施期間	令和 年 月 日	～	令和 年 月 日
工事金額	円（自己負担分 円）		

邸の修理に際し、証拠である写真を撮り忘れたことから、施工前、施工中の証拠写真の代替として、下記のとおり資料を提出し、これを証明します。

※ 施工後の写真は現時点においても撮影は可能であるため、写真が無いということは認めない。被災者の了解を取り、必ず写真撮影を行うこと。

記

【施工前の被災状況】

邸図面（1階）

※損傷箇所が判るようにすること（破損箇所は赤枠で示す）

邸図面（2階）

※損傷箇所が判るようにすること（破損箇所は赤枠で示す）

○工事箇所（復旧等工事として申請する箇所）

1

(工事箇所名)	(破損状況説明)	
(破損材料)		(交換材料)

2

(工事箇所名)	(破損状況説明)	
(破損材料)		(交換材料)

3

(工事箇所名)	(破損状況説明)	
(破損材料)		(交換材料)

4

(工事箇所名)	(破損状況説明)
(破損材料)	(交換材料)

5

(工事箇所名)	(破損状況説明)
(破損材料)	(交換材料)

6

(工事箇所名)	(破損状況説明)
(破損材料)	(交換材料)